

中原通信



文責 増永 善久



一年間お世話になりました

早いもので、今年度もあと1週間足らずとなりました。昨年度の150周年をふまえ、学校教育目標の『ふるさとを想い、学ぶ楽しさを実感する、心ゆたかたたくましい「中原っ子」の育成』のもと、新たな中原小の伝統作りを目指し、子どもたちは本年度もさまざまな活動に取り組んできました。学校での活動により、児童の中に、学ぶ楽しさ、ふるさとを想う気持ち、たくましさが高まっていることを期待しています。来年度も、社会で生きていくうえで土台となる「あいさつする・仲良くする・感謝する」の3つのするを深く心にきざみ、自分の持つ可能性を広げるために「前へ」、一步一步進んでいってほしいと思います。

今年一年、学校では地域や保護者の皆さまに支えられた様々な活動ができました。保護者の皆さまのお子さんへの後押しのもと、学校の取組が確実に子どもたちの成長につながっていれば、幸いです。「親の一言は教師の千言に勝る」という言葉があります。今後も保護者の皆さまのご理解とご協力のもと、教育活動を進め、子どもたちの成長につなげていきたいと考えています。本当に今年度一年、学校へのご支援ありがとうございました。

卒業式より

3月23日(月)に第136回卒業式を行いました。卒業式の前の週は、インフルエンザ等の感染症が多く出て、2日間学校閉鎖を行わなければなりませんでしたが、例年より、短い練習期間でした。そのような中、本校および児童と関わりが深い皆さまを来賓としてお迎えし、7名の卒業生の門出を保護者の皆さまと無事にお祝いできたことをうれしく思います。今年の卒業生が入学した令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、入学式直後に、全国的な学校の臨時休業がありました。卒業生の小学校生活は順風満帆なスタートではありませんでした。それでも、卒業式での卒業生の言葉にあったように、それぞれの学年で思い出に残る出会いがあり、自らの個性を発揮しつつ、卒業生は一步一步、着実に成長してきたと思います。7人という少ない人数で、苦労したり、悩んだりしたこともあったと思いますが、明るく、そして協力し合い、いろんな事に意欲的に取り組み、力を伸ばしてくれたと思います。笑顔あふれる、明るい雰囲気のもと感動的な式となりました。卒業生7名は、中学生に向けた第一歩を踏み出しました。

卒業式より



春は別れの季節です

27日(金)に本校の退任式が予定されています。(異動に関しましては、「安心・安全メール」でお知らせします)。別れや4月に入ってからの新しい出会いなど春は子どもたちを取りまく環境が変わる季節でもあります。環境が変わることで何かご心配なことがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。